



愛知の「働き方改革」取組事例

## 碧南運送株式会社

**HEKIUN**

所在地：愛知県豊田市
業 種：運送業
社員数：男性445名 女性62名（R5. 9月現在）

### トップメッセージ・取組の目的

多様な物流サービスを通して顧客の生産活動を支えるという使命をもち、更に地域との共存、社会への貢献が企業活動にとって不可欠と考えています。

そのため、新人・ベテランドライバーを問わず徹底した安全教育を行い、またドライバーの安全運転への負担軽減のため、先進の安全装備車両を積極的に導入しています。

社員一人一人がやりがいをもって働くことができるとともに、社員のみならずその家族も幸せを感じることができる、魅力ある企業を目指しています。

### 取組の概要

#### ○ 取組の経緯

従来からの慢性的な人手不足と物流2024年問題を見据えて、社員一人一人がやりがいをもって働くことができる魅力的な企業となるため、また高効率な輸送サービスの実現を目指して、IoT導入による時間外労働の削減の取り組みを始めた。

#### ○ 働き方の課題

会社は、アイシンググループの一員であり、主業は自動車部品の輸送である。運行ダイヤは毎日ほぼ同じ内容であるが、荷主、納入先の生産活動の妨げにならない様、遅延なく時間通りに運行する事が最も重要となる。

そのような状況ではあるが、一部では荷待ち、トラックステーションの順番待ちによる待機時間が発生し、長時間労働になってしまうということが問題となっていた。

#### ○ 働き方改善に向けての取り組み

- 全車両に通信型デジタルタコグラフ、ドライブレコーダーを導入し、車両の運行状況の見える化を図った。これにより、事務所のモニターで所在地の確認ができ、待機場所・待機時間を簡単にデータ化できるようになった。荷主へ納入時間変更を申し出るための準備工数が大幅に削減でき、改善スピードが向上した。

- 1日の時間外労働が3時間を超える運行便については、荷主と共に改善検討をしたり、社内では既存便とのルートの変更を実施し、時間外労働の短縮を行っている。また、1日に何度も往復をするピストン便は、ピストン便の最後を別の乗務員が対応する事で、時間外労働の短縮も行っている。

## 取組の概要

- 物流 2024 年問題（改善基準告示対応含む）については、全運行便の運行状況を調査、法改正内容に合致しない運行便を抽出し、運行ダイヤの是正を荷主と取り組んでいる最中である。
- 代行乗務については、標準作業書を作成し、1 つの運行便を複数の人が乗務できるよう、多能工化に取り組んでいる。

## 現状とこれまでの取組の効果

- **時間外労働が年間960時間を超えていた人数の減少**  
2021年度（'21/4～'22/3） 5人  
2022年度（'22/4～'23/3） 7人  
2024年2月末時点において、年率960時間を超える見込みの者はいない。